

2019年度宮崎県まぐろ部会全体会議



宮崎県まぐろ部会（会長：島田松男）は、8月1日に水産会館5階大研修室において、宮崎県かつお・まぐろ漁業者協会に所属するまぐろ延縄漁業者ほか関係者等50名の参加のもと全体会議を開催した。

会議内容については、報告・協議事項（以下に記載）を行ったあと、漁船マルシップ制度の適正運用についての意見交換会を行った。

意見交換会については、全国近海かつお・まぐろ漁業協会代表理事専務の納富善裕氏および全日本海員組合水産局長の高橋健二氏に近海まぐろはえ縄漁船におけるマルシップ制度の現状・課題等を述べていただき、その後、漁業者側からみた本制度についての意見等が数多く寄せられ、活発な意見交換会となった。

【全体会議議事】

・報告事項

- (1) 太平洋クロマグロ資源管理にかかるこれまでの取組経緯について
- (2) 日台漁業協議結果について

・協議事項

- (1) 2019年度条約オブザーバーの決定について

・意見交換会

テーマ：漁船マルシップの適正運用について